

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度 第1回相模原市廃棄物減量等推進審議会				
事務局 (担当課)		資源循環部廃棄物政策課 電話042-769-8336(直通)				
開催日時		平成30年5月21日(月) 14時00分~16時00分				
開催場所		産業会館4階 中研修室				
出席者	委員	14人(別紙のとおり)				
	その他	- 人				
	事務局	23人(資源循環部長、廃棄物政策課長他21人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						

会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 生活排水の適正処理について</p> <p>(2) 災害廃棄物処理体制の整備について</p> <p>(3) ごみ処理体制の整備について</p> <p>3 報告</p> <p>(1) 市民アンケートの結果について</p> <p>4 閉会</p>
------	---

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 生活排水の適正処理について

本市の公共下水道整備状況や水質改善方策について、事務局から説明を行った。

(2) 災害廃棄物処理体制の整備について

本市の体制の整備状況や課題について、熊本地震の事例を参考に事務局から説明を行った。

【提案事項】

仮置場の入り口は、仮置場の許容量の確保のため、仮置場からの廃棄物の搬出を効率化する必要がある。そのため、仮置場の設置にあたっては、大型の車両が通行できる道路状況であることや市民等による搬入と事業者の搬出の出入り口を分けることなど考慮する必要がある。

仮置場における災害廃棄物の分別については、1次仮置場において、分別がされていると2次仮置場での分別処理を行うことなく清掃工場や処理業者へ運搬できる品目があるため、市民や事業者の方へ1次仮置場において分別を徹底する必要がある。

熊本地震の事例では、仮置場内での分別して看板による分別の案内は効果がなく、仮置場内で分別して各品目のスペースに1品ずつ置いておくことで分別が促進されたことから、仮置場における分別を案内するべき。

清掃工場が稼働できなくなった場合や生ごみから発生する臭いの問題を想定して避難所で発生する生ごみを段ボールコンポストで堆肥化する方針にできないか。

災害対策をしていく上で、さがみはら防災マイスター等を活用し、積極的に地域と協働してはどうか。

【質疑事項】

一般廃棄物処理計画に災害に関する規定があるのは承知しているが、災害廃棄物処理計画を策定しているのか。

策定している。

市の地域防災計画と連携をし、市の内部計画として策定しているが、市民の方々に対する周知はしておりません。

地震を例に挙げているがどのくらいの規模の地震を想定しているのか。

また、それによる災害廃棄物の発生量、仮置場の必要面積や必要箇所数ほどの程度になっているのか。

マグニチュード7の関東周辺震源の直下地震やマグニチュード8の海溝型地震の発生を想定しており、災害廃棄物発生量は224万トンを見込んでいる。

また、仮置場については、1次仮置場として5千平方メートル程度のオープンスペースを各区に複数箇所必要になると見込んでおり、その後、2次仮置場として2万平方メートル以上のオープンスペースを各区2箇所必要になると想定している。

災害廃棄物等処理計画に仮置場の設置予定地は示されているのか。

また、実際に災害が起きて混乱している場合、どこに捨てにいけばいいのかわ知らされていなければごみを出す人はわからないため、市民等に公表する必要があると思うが候補地については、公表しているか。

仮置場の設置予定地については、災害廃棄物等処理計画には示されておりませんが、公園や国有地などの土地から必要箇所数を選考しております。ただし、これは現段階では市民の方に公表していない。

仮置場の設置予定地は、しっかりと選定する必要があるが、事前の公表については、反対運動が起きる可能性があるため難しいのではないかと。

(3) ごみ処理体制の整備について

本市の体制の整備状況や課題について、事務局から説明を行った。

【提案事項】

収集業務は、単に入札でやるのではなく市民へのごみ減量化、資源化などの啓発や呼びかけについての企画提案をさせて決めたほうが良い。

【質疑事項】

相模原市ではふれあい収集をやっているのか。

一般家庭から出る一般ごみについては実施していないが、粗大ごみについては実施している。

北清掃工場では、基幹改良工事中であるが、災害が起きた場合の処理余力はあるのか。

基幹改良工事中は、北清掃工場に持ち込む一部地域のごみは南清掃工場に持ち込んでいるという状況があり、余力はほとんどない。

粗大ごみ処理施設は、北清掃工場にしかないのか。

また、北清掃工場にしかない場合、南部粗大ごみ受入施設で受けたごみは北清掃工場に持ち込んでいるということでもいいのか。

北清掃工場の粗大ごみ処理施設は、市内全ての粗大ごみが処理できる処理能力を有していることから北清掃工場にのみ設置している。

また、南部粗大ごみ受入施設では金属類などは、売却し、リサイクルできるものは市民に売却やリサイクルスクエアへの譲渡している、なお、その他、破碎できず南清掃工場で処理できないものについては、北清掃工場へ持っていつている。

3 報告

(1) 市民アンケートについて

本市で実施した市民アンケートの分析について、事務局から報告を行った。

相模原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安西 優花	公募		欠席
2	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		出席
3	池田 珠三子	さがみはら消費者の会		出席
4	猪俣 聡	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		出席
5	内山 尚美	さがみはらリサイクル連絡会		出席
6	王 文聡	公募		出席
7	大河内 初雄	相模原商工会議		出席
8	大河内 由美子	麻布大学		欠席
9	河本 博	相模原市廃棄物減量等代表推進員		出席
10	菅野 泰男	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
11	小清水 忠雄	相模原市農業協同組合		欠席
12	坂本 堯則	相模原市自治会連合会	会長	出席
13	成井 マユミ	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
14	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
15	藤倉 まなみ	桜美林大学		出席
16	不破 薫	相模原廃棄物対策協議会		欠席
17	三須 城太郎	相模原地域連合		欠席
18	宮津 敏信	公募		出席
19	山口 弘一	津久井地域不法投棄防止協議会	職務代理者	出席